

NEW

御堂筋

CITY PAPER

昭和45年10月5日創刊
 株式会社ファッションビジネス
 発行・編集 深堀 正晶
 〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目9番24号
 Studio南船場801号
 TEL:06-6260-0071 FAX:06-6260-0037
 http://mido-suji.com
 E-mail: voice@mido-suji.com

掲載記事 写真 イラスト等の無断掲載を禁じます

◆特集 河内音頭	3面
◆篤志面接委員	4面
◆言の葉 音と楽 Vol. 7	1面
◆大阪文化再発見-大阪の水	2面
◆美しく 力強く 生きる Vol. 7	6面

御堂筋の元気な...
 石井 空ちゃん、健毅くん(5)



撮影場所 堺市・ポルタス広場の盆踊り大会
 (本紙3ページ参照)
 撮影日 平成20年7月13日
 同じ年のいとこ同士。近所と一緒にもあつていつも仲良く遊んでいるそうです。

言の葉、音と楽

ライフイング・パルセイション
Life-ing Pulsation

Vol. 7

かなり個人的な発想と趣味で恐縮ですが...元々、エッセイというモノは個人的な見解だと割り切って、思い切って書く事にしました。音楽に特別な造詣が深いわけでもなく、もちろん専門家では有りませんが、クラシックが大好きという事もありません。だから、カルロス・クライバー、彼を純粋に好きだけなのだと。とても不思議です。こんな感じは初めてでした。

初めてカルロス・クライバーのCDを聴いた時には、決して付けたくはないと普通「良いなあ」という感じでした。ところが何故か毎日聴きたくなってしまふ。朝、目が覚めて、気がついたら、プレイヤーのスイッチを入れて...今、思えばこの辺りから少し変わったのですが...自分自身がオカシイ事って判らないものです。ある日ひよんな事からカルロス・クライバーのDVDを見る機会を持ちました。カルロス・クライバーとの初めての対面です。ショックでした。凄いな...これだったのかと...妙に合点がいききました。心の深みを解き放つ安堵のため息が流れ出る、納得の瞬間でした。

指揮者、カルロス・クライバーの姿を見た時の感覚が忘れられません。本当に凄いな、魅せられるというのはこういう事かと。気持ちごとく引き込まれ、巻き込まれ...幸せな...そしてとても哀しい、愛おしい感覚。カルロス・クライバーに恋をしています。常軌をかなり外している事は、十分承知。こんなヒトがいたのだという事に戸惑い、心が躍動し収拾が付かなくなる...すこぶる陽気な気分...收拾など、うとする...失い探し、そして、ときめく。聞こえてくる何もかもがカルロス・クライバーになっていく、透き通っていく時間と空間。響き通うような、敢えて言うなら、永久を示唆する魅力、やはり恋...としか言いようがありません。ヒトは言葉と唇より「音」として発し、全身にて「楽」を奏します。何かを伝えたくてヒトは口から出た音は、全て自分の耳で聞く事ができます。何か変?何か違う?と感じたり、ああ、ウンを付いている...と気付く事もありません。気持ちと言葉のズレを無意識のうちに検証してしまふ。ヒトはどんな精密機械でも敵わないほどに素早く、心と言葉の誤差を身体全体に伝達します。ヒトのイノチの気配 *Life-ing Pulsation* が良くも悪くも濁ります。何しろ、他ならぬ「私自身」の事ですから、身心の連動は精確・迅速を極めています。思っている事を、そっくりそのまま言葉にする事が出来るなら、ヒトは身体も軽く、お腹の中までスッキリするはずなのに。物言わぬは、本当に腹

ふくくる業である事を日々実感しています。一方、ヒトは同時に相手の反応によって自分の言葉が適切に伝わったかどうかを確認しています。相手以上に雄弁な気配によって...誤差が大きいとお互いの居心地が悪い。伝えたい想いと伝わりたくない想いの間に必要に応じてヒトの言葉を洗練し、ヒトをヒトに深く豊かに結びつけてくれます。

音と楽により
 ヒトは
 心を
 綺麗に浄う

カルロス・クライバーの指揮を目にしオーケストラの演奏を耳にする事で、人の心と言葉の「極致」を突きつけられ...心地よく茫然自失しています。クライバーの心に潜む「言の葉」が、オーケストラから「音と楽」というカタチで引き出され、その中に自らを溶かし込んでいくクライバーの姿は凄絶です。人の真直ぐな欲、穢れ無き欲を、目の当たりにする爽快な気分の中の何かを知ろうとするのではなく、何かを感じ

MIDOSUJI HOT SHOT



向日葵の行進 鞆公園(大阪市・西区)

観じている。自らを失うことなくモノの見事に染まりながら...それどころか、私のココロは、また心になつてクライバーの気配がどんと入って来るとも言えない。染まり、染めゆく迫力が見える。極彩色のグラデーションに打ち負かされて、心が奪われていくのが判る。弾み、私は、ヒトは力不足です。

初めは、カルロス・クライバーの事を知らなかつた事もあり、ウィーンフィルの完成された音の力だと単純に思っていました。CDでは決して感じる事のなかつた心の動きに...ああ、指揮者が居たのだと...絶句です。

いつの日か
 この想い捕まえて
 1968年バイエルン国立歌劇場の指揮者となり名声を確立。指揮の回数、レコーディングの回数は極端に少なく、レパートリーは厳選限定されている。

私は
 庭の野菜のように
 太陽を浴びて成長し
 食べて飲み
 眠りたいだけ

生きてる
 中に
 間に合つて
 ホントに良かった
 誰かを
 人を
 愛する事が
 できそうです

Essyist Magsenokuren
 Carlos Kleiber
 1930年ベルリンに生まれた二十世紀後半を代表する名指揮者の一人。五歳の時に一家でアルゼンチンに亡命。後、ヨーロッパに戻り、1954年ボツダムオペレッタ劇場で指揮者として正式デビュー。

ある街角にて...



看板犬 MAX
 坐摩神社の陶器市にて(本紙3ページ参照)

— VOICE —

御堂筋 on WEBでは
 本コラムのご意見ご感想を
 募集しています。

御堂筋新聞「言の葉、音と楽」係
 E-mail: voice@mido-suji.com

UPPERS Co., Ltd. の英会話レッスンは、人の心を伝える「言葉」として
 "English" を考えています。

The English language is a device to express your feeling...

英語は「自分の気持ち」を表現する手段の一つです。「何かを伝えたい」という思いがあれば、誰もが話せるようになります。

体験・見学 随時受け付け中 週1回(4回/月)グループレッスン 問合せ: UPPERS Co., Ltd. 音田 Tel. 06-6282-5138